

# 人形峠環境技術センター 原子力防災訓練中期計画（令和4年度～令和6年度）

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
人形峠環境技術センター

今中期計画の目的	前中期計画の課題である「事象進展対策シート」を用いた情報共有について改善を図る。また、緊急時対応のレベルアップを図るため、「主要な要員を欠員した状態」「自然災害の発生」を想定に盛り込み、訓練を通じて課題の洗い出しや改善を図る。				
前中期計画の課題	今中期計画期間中の訓練目標 (目指すべき姿)	年次計画			次期(令和7年度～令和9年度)中期計画 の方針及び実施の概要
		令和4年度(2部制)	令和5年度(2部制)	令和6年度(1部制)	
<p>・「事象進展対策シート」を用いた応急措置作業の実施状況について、開始時刻・終了時刻の報告が開始及び終了の都度でなく、集約して報告し、タイムリーな報告ができなかった。 (訓練目標②で達成状況を検証する。)</p>	<p>訓練目標① 現地対策本部又は現場対応班において、本部長スタッフ又は作業班長等の主要な要員が欠席しても、現地対策本部の機能を維持できること。</p>	<p>&lt;第1部訓練で実施&gt; ・現地対策本部又は現場対応班において、作業班班長等の主要な要員が欠席しても、代理者又は他の作業班からの人員の融通等により、現地対策本部の機能を維持できること。</p>	<p>&lt;第1部訓練で実施&gt; ・現地対策本部又は現場対応班において、作業班班長等の主要な要員が欠席しても、代理者又は他の作業班からの人員の融通等により、現地対策本部の機能を維持できること。 ※欠席する要員は、令和4年度よりも増やす。</p>	<p>・現地対策本部又は現場対応班において、本部長スタッフ又は作業班班長等の主要な要員が欠席しても、代理者又は他の作業班からの人員の融通等により、現地対策本部の機能を維持すること。 ※欠席する要員は、令和5年度と同数。</p>	<p>1. 方針 機構大中期計画作成方針に基づき実施する。対外要求・要請事項に対応するとともに、訓練を通じてPDCAを回しながら更なる改善(充実化)を実施する。 2. 訓練目的 広域に影響する自然災害を想定し、現場指揮所、機構対策本部及びERCとの情報共有を図り、地域住民の行動の指標となる情報を発信するとともに、防災施設への適切な助言・指示を行うことを目的とする。 3. 訓練目標 ・現場指揮所から発信される情報の整理ができること ・機構対策本部及びERCへ正確な情報提供ができること ・原子力事業所災害対策支援拠点との協働体制がとれること 4. 訓練想定 人形峠環境技術センターにおいて、事象進展により全面緊急事態に至る原子力災害を想定した総合訓練を行う。 5. 訓練項目 訓練項目及び訓練目標を踏まえ、機構対策本部と合同による総合訓練、個別訓練を計画する。</p>
	<p>訓練目標② 現地対策本部、現場対応班、機構対策本部の相互間で、「事象進展対策シート」を用いて、視覚情報によりタイムリーに情報共有ができる。</p>	<p>&lt;第1・2部訓練で実施&gt; ・「事象進展対策シート」を用いて、視覚情報によりタイムリーな情報提供ができること。</p>	<p>&lt;第1・2部訓練で実施&gt; ・「事象進展対策シート」を用いて、視覚情報によりタイムリーな情報提供ができること。 (令和4年度の訓練で効果を確認し、課題が抽出された場合は、改善を図る。)</p>	<p>&lt;第1・2部訓練で実施&gt; ・「事象進展対策シート」を用いて、視覚情報によりタイムリーな情報提供ができること。 (令和5年度の訓練で効果を確認し、課題が抽出された場合は、改善を図る。)</p>	
	<p>訓練目標③ 原災法事象の発生と併せて、土砂災害、落雷といった自然災害及びその発生に付随した事象に対しても、適切に対応できること。</p>	<p>&lt;第1部訓練で実施&gt; ・原災法事象の発生と合わせて、土砂災害が発生した際に、現地対策本部は適切に対応ができること。</p>	<p>&lt;第1部訓練で実施&gt; ・原災法事象の発生と合わせて、落雷が発生し、かつセンター設備に影響を及ぼす事象が発生しても、現地対策本部構成員は、適切に対応できること。</p>	<p>&lt;第1部訓練で実施&gt; ・原災法事象の発生と合わせて、落雷が発生し、かつセンター設備に影響を及ぼす事象が発生しても、現地対策本部構成員は、適切に対応できること。 (令和5年度の訓練で効果を確認し、課題が抽出された場合は、改善を図る。)</p>	
<p>前年度(令和3年度)訓練の課題 ・「事象進展対策シート」に時刻を書き示して報告することで、進捗状況を確実に、現地対策本部→機構対策本部→ERCに伝達するという目的を理解していなかった。現地対策本部から「事象進展対策シート」を用いた作業の進捗報告がタイムリーに実施できなかった。</p>	<p>訓練目標④ <u>人形峠環境技術センターの統合原子力防災ネットワーク回線及び機構TV会議システム回線が不調により使用できない状況においても、機構内外との情報共有が実施できること。</u></p>	/	<p><u>人形峠環境技術センターの統合原子力防災ネットワーク回線が不調により使用できない状況においても、代替手段の活用により機構対策本部-ERC間の情報共有を支援できること。</u></p>	<p><u>人形峠環境技術センターの統合原子力防災ネットワーク回線及び機構TV会議システム回線が不調により使用できない状況においても、代替手段の活用により機構対策本部との情報共有を継続しつつ、機構対策本部-ERC間の情報共有を支援できること。</u></p>	
	訓練想定	<p>人形峠環境技術センターにおいて、事象進展により全面緊急事態に至る可能性を考慮した「現実的なシナリオに基づく対応訓練」(第1部訓練)、事態進展により全面緊急事態に至る原子力災害を想定した「緊急時対策所や本部の対応訓練」(第2部訓練)を行う。</p>	<p>人形峠環境技術センターにおいて、事象進展により全面緊急事態に至る可能性を考慮した「現実的なシナリオに基づく対応訓練」(第1部訓練)、事態進展により全面緊急事態に至る原子力災害を想定した「緊急時対策所や本部の対応訓練」(第2部訓練)を行う。</p>	<p>人形峠環境技術センターにおいて、事象進展により全面緊急事態に至る原子力災害を想定した総合訓練を行う。</p>	

